

道徳のひろば ②4

「凡事徹底」あたり前のことをあたり前に徹底！

今年度も道徳的実践力を高めるために、全教職員が「凡事徹底（何でもないあたり前のことを徹底してやる）」を合い言葉に取り組んできました。一年間を振り返って、これは徹底できたと思えることがあります。それは玄関の靴箱の整頓です。先日、事務長の篠田さんが「玄関の靴箱を見て今日も全員が整頓できている。」と感心していました。このように一年間、全員が一つの目標を意識し守り通したことに大きな価値を感じます。その結果、体育朝会での赤白帽子を全員が忘れないという目標も2/28（火）に守れ、2月はこれで2回達成しました。児童215人が徹底するのは難しいことですが、全員の気持ちや意識が向上すればどんなことでもあたり前にできるようになるものです。良いも悪いも慣れ次第。良いことは増やしたいものですが、逆に忘れ物などの慣れは怖いものだと思います。

今年度は、学校便りに「道徳のひろば」を設け、道徳教育についてお知らせしてきましたが24号で最終と致します。保護者の皆様には、今年度も本校の道徳教育の推進のためにご協力いただきましてありがとうございました。「凡事徹底」の一部を下記写真でご覧下さい。



姿勢は、チョコ・ペタ・ピンを意識。作業は、両手を上手に使い左右のバランス感覚を高める！



1年



3F



ベランダ



1年



4年



2年



5年手前・6-2前



保護者：参観日



整理・整頓が整った環境で豊かな心が育まれると思います。